

企業理念実践の軌跡

JSRは、1957年の創業以来、精緻を極めた先端分野のテクノロジーカンパニーとして、技術と社会の発展に貢献しています。

新たな可能性を見いだすインスピレーションを常に持ち続け、世界が必要とする新しい技術領域に挑戦し続けます。

合成ゴムの国産化に成功

- 1957年 / 国策会社として設立
- 1964年 / 合成樹脂の販売開始
- 1969年 / 民間会社に完全移行



先端分野への進出を進め、 電子材料分野の基盤を構築

- 1988年 / 液晶ディスプレイ材料販売開始



半導体・ディスプレイ材料の 世界市場でシェア拡大



事業構造改革を進め、 成長領域に集中

- 2025年度より、デジタルソリューション事業（電子材料・ディスプレイソリューション・オプティカルソリューション）を成長ドライバーとする2030年に向けた中期経営計画を始動
- 2021年 / EUVメタルオキシドレジストのパイオニア、Inpria Corporationを完全子会社化
- 2022年 / エラストマー事業をENEOS(株)に事業譲渡
- 2024年 / 半導体用の高純度化学品に強みを持つヤマナカヒューテック(株)を完全子会社化
- 2024年 / 非上場化し、新たな経営体制へ移行

1960年代

1970年代

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

石油ショックを契機に、事業基盤を 強化するため多角化戦略を開始

- 1971年 / 東京、大阪両証券取引所の市場第一部に上場
- 1979年 / フォトレジスト販売開始



事業の発展を見据え、 グローバル展開を加速

- 1997年 / 社名を「日本合成ゴム(株)」から「JSR(株)」に変更



持続的成長を目指して、 社会課題の解決に挑む体制を構築

- 2018年 / テクノポリマー(株)とユーエムジー・エービーエス(株)の統合によりテクノUMG(株)を設立

